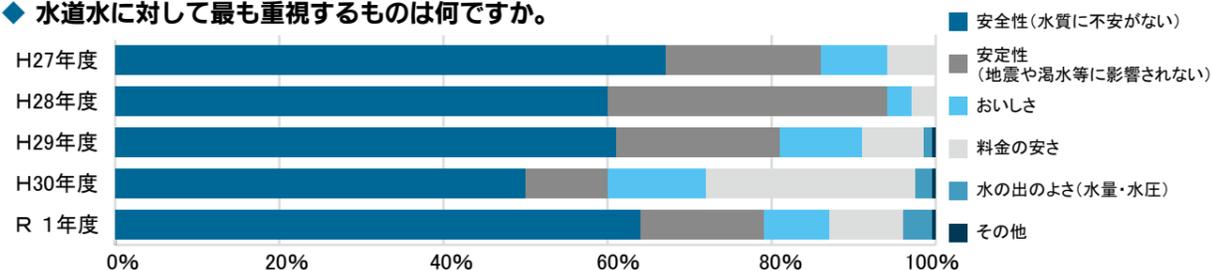


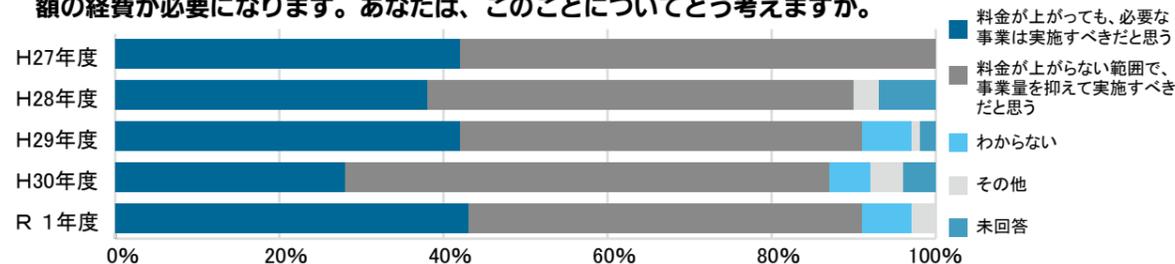
『水道事業アンケート』の調査結果

水道局では、昨年8月から10月までインターネットによる『水道事業アンケート』を実施しました。このアンケート調査は、皆さんの水道に関する意識、満足度やニーズおよび水道使用等の実態を把握し、事業運営に役立てるため実施したもので、202名の皆さんからご回答をいただきました。今回は、その中の一部を過去のアンケートの調査結果(平成27年度～平成30年度)と比較してご紹介します。

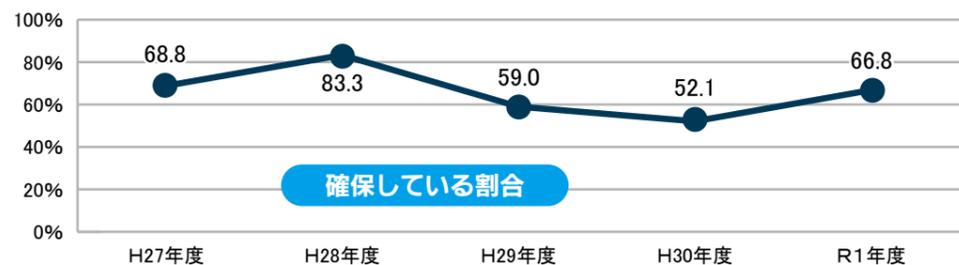
◆ 水道水に対して最も重視するものは何ですか。



◆ 水道局では、将来にわたり安定的に給水できるよう、古くなった水道管を地震に強い耐震管に取り替わり、漏水防止対策を行うなど、水道管の維持管理に努めていますが、こうした取組み(事業)には多額の経費が必要になります。あなたは、このことについてどう考えますか。



◆ ご自宅では、大地震など自然災害が発生した際に備えて、水の確保をしていますか。



アンケート結果は、水道局ホームページで詳しくお知らせしていますので、ご覧ください。

アンケート調査にご協力くださいました皆さんには、貴重なご意見ありがとうございました。



お問い合わせ 総務課 広報情報係

TEL 22-9314

漏水(水漏れ)って どうやってわかるの？



◆ ご家庭での漏水の確認方法

『水道ご使用量等のお知らせ』(検針票)を見て、「あらっ、水道代が高くなっている、でも心当たりがない。」というときは、宅地内のどこかで漏水している可能性があります。次の方法で漏水がないかを確認してみましょう。

- ①ご家庭のすべての蛇口を閉めます。
- ②メーターパイロット(銀色等の羽根車)の動きを見ます。
- ③パイロットが回転していれば、漏水の可能性があります。

漏水の可能性がある場合には、お早めに「いわき市水道局指定給水装置工事業者(水道局ホームページに掲載)」に修理を依頼してください。

※ 修理費用は、お客さまのご負担になります。なお、漏水の場所によっては、水道料金等を軽減できる場合がありますので、修理が済みましたら、「いわき市水道料金お客様センター」へご連絡ください。



◆ 水道局が行う漏水調査

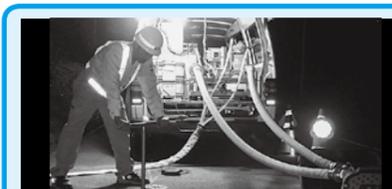
漏水は、水道管が地下に埋設されていることから、地上に水が出てこない「地下漏水」と、地上に出てくる「地上漏水」があります。

漏水が発生すると、大切な水が無駄になるのはもちろん、水圧が低下したり、水道水が出なくなるなど、お客さまにご迷惑をおかけすることになります。また、道路の陥没など二次被害を引き起こすこともありますので、漏水の早期発見は水道局にとって重要な課題となっています。

漏水による損害を最小限にするため、次のような「漏水調査」を定期的に行っています。



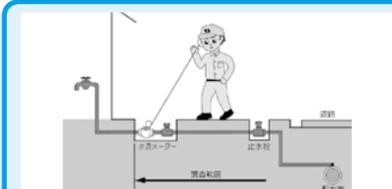
①調査準備
調査区域や調査方法について綿密な計画を立てます。



②流量調査と最小流量(=漏水量)の把握
水道水を使用していない時間帯に調査ブロックの「最小流量」の測定を行います。「最小流量」を測定することで漏水量が把握できます。



③路面音聴調査
漏水の多い地区については、深夜静かな時間帯に地下に流れる水の音を探す調査を行い、漏水の早期発見をします。



④戸別音聴調査
給水管上の漏水についても、昼間お客様宅内に設置された水道メーターの音を聴く事で漏水の有無を確認します。



⑤漏水修理
路面音聴調査や、戸別音聴調査により発見された漏水は、すぐに修理し二次災害を未然に防ぎます。

※ 調査は、水道局職員と水道局が委託した漏水調査専門会社の調査員が行っています。

お問い合わせ 配水課 漏水防止係

TEL 22-9317